

平成 29 年度町政懇談会記録（要旨）

開催日：平成 29 年 10 月 29 日（日）

開会：午前 10 時 00 分 閉会：午前 11 時 03 分

場所：笹尾東 4 丁目集会所

参加者：男 12 人、女 1 人 計 13 人（うち職員 3 人）

町職員：町長、副町長、建設部参事、上下水道課長、政策課員

○懇談

男性（1） 3 点ほど伺いたいと思います。まずは人口問題です。東京などの都市圏以外全国的に減少しており限界集落がかなりの数あると思います。東員町はないとは思いますがいなべ市なんかはあるのではないかと考えています。ただここら辺の団地も、班長ができない、組長ができないなどの人が増えてきて班が構成できない、限界集落に近い状態になりつつあると思います。先ほどの町長の話で東員町は人口が横這いということでしたが、それは鳥取や六把野新田などがミニ開発で増えているだけで、残念ながら団地では空き住宅が増えています。これは、誰も真剣にしていないだけで、真剣にお願いすれば家を貸してくれたり、売ってくれたりする人もいると思うんです。東員町というのは名古屋まで 1 時間以内にいけるし、財政状況もまだましだし、水道料金は安いし、待機児童はないし、そういうことをもっと名古屋市とか四日市市で PR するべきだと思うんです。

町長 空き家というのは、全国では 8 軒に 1 軒ぐらいあるんです。東員町はそれの半分ぐらいです。そして、団地よりも在来地区のほうが多いんです。ほとんど在来です。団地の本当の空き家というのは 1% ぐらいなんです。現在は転勤とかでないだけで、空き家のように見えるだけなんです。転勤が終われば帰ってくるんで、本当の空き家ではないんです。なんでこんなに少ないかということ、空き家になってもリフォームして売り出せば、すぐに売れるからなんです。わりと回転がいいんです。これが現状なんです。ただこれからは、本当の空き家が増えてくる可能性があります。これをどうするかということで我々は対策を考えていかなければなりません。昨年笹尾西 1 丁目の旧保育園跡地に住宅が 13 軒建ち、若い方があつという間に入居されました。笹尾西は他にも空き地があってその空き地に住宅が建ち始めています。ですから、笹尾西は子どもの数が減っていないんです。全体的には減っていますが子どもの数は横這いです。そこを開発した事業者とも話をしている、空き家になったらこちらからも情報提供しますので、上手くリフォームして売り出すというようなことも含めてご協力をお願いしております。我々も対策をしていますが、住んでいる皆さんからも情報提供をしていただければと思いますのでよろしく願いいたします。

男性（１） 一極集中のこの時代に人口増は大変だと思いますが、ぜひ頑張っていたきたいです。もう一つ、水道の話ですが、浅井戸ということは員弁川の水が浸透して入ってきていますよね。

上下水道課長 員弁川の水が入る前の水を汲んでおります。

男性（２） 住民にとっては暮らしやすいから暮らす、引っ越しするというところで、何かポイントを作ってそれを PR できないか。例えば先ほどの話で水が綺麗だというのならそれを売り出すとか。収入源にはならなくても PR にはなるんじゃないかと思うんです。

それから農地についても、東員町は地産地消がどれくらいの率なのか、貸出農園の回転率はどれくらいなのか、その辺の見通しはどうかをお聞かせいただきたいと思っています。

上下水道課長 水の話ですが、おかげさまで東員町の水は綺麗な水なんです、いなべ市や桑名市が浸透する領域になっているんです。そのおかげで東員町は綺麗な水を汲んでいるわけなんです、全国的に言うと、湧き水があって、観光地があってブランドがあって名前を付けて水をペットボトルに詰めて売るんです。東員町でも作れないことはないんですが、作っても普通のペットボトルと変わらない値段になってしまいますし、付加価値をつけるにしても他市町で降った水を汲んでいるわけで、東員町だけという特色が何かあればいいのですが、なかなか成分的にもいなべ市と変わりありませんし、色々検討はしているのですが難しいです。

建設部参事 地産地消の話ですが、東員町の米は全て農協に引き取ってもらって農協から全国にまわっていますので、なかなか地産地消に結びついていません。しかしながら、農家の方と知り合いの方は、直接農家の方と交渉いただいて、東員町のお米を食べて頂いている方もおみえになります。野菜なども作っている農家はありますが、ほとんどが自宅で消費するためのものですので、その野菜が地産地消につながっているものではありません。そういったことでございますので、これから売れる野菜、果物などを作って町内での地産地消を目指していきたいと思っています。

それから、東員駅の北側のふれあい農園という貸出農園がありまして、277 区画あるのですが、利用率は毎年ほぼ 100% 近くいっています。笹尾東 4 丁目の方は、25 区画ご利用いただいております。全体でいきますと 277 区画を 138 名の方がご利用いただいております。農園を借りている方も高齢化し、やめられる方、新たに始められる方の需要と供給のバランスがとれておりまして、今のところ拡充するような予定はございません。

町長 直接在来の農家の方と交渉して借りられている方もいらっしゃいます。

男性（３） 少しでも付加価値の高い農産品を作るのは農家として当たり前のことだと私は思うのですが、その付加価値をつけるのに町が協力とか斡旋とかするのも必要だと思いますが、農協なんかはどのように関与しているのでしょうか。

建設部参事 本来であれば、農業者が自ら考えて自ら儲けを出すのが当たり前なんですけど、それができていない。というのも、国が農業を補助金で守ってきたということがずっと続けられまして、農業者は補助金頼りで農業を営んでおります。本当に自らの力で儲ける農業になっていないというのが現状です。なかなかこの意識を変えていただけない。ですから行政自らが今手を打っていく必要があります。色んな品種であったり、農法であったり行政が中に入って指導していくということです。

農協ですが、今農協改革ということで色々言われております。農協はもともと農業者のための組合ですが、今農業者が減ってきているなかで、もともとの農協の仕事をしていない、ということで国が今農協改革を進めていますが、なかなか改革が進んでいない。今後国の指導が強くなっていくと思いますが、それを待っていたのでは東員町の農地も荒廃していってしまいますし、持続的な発展を目指す中で700haの農地を放っておくことはできません。一度に全ては無理ですが、今から農業に力を入れていきたいということです。

男性（４） 今の話で、700haの農地という話ですが、東員町って大分市街化が進んできたと思うんですよ。ですから県へ働きかけて市街化への転換をすすめたり、農地として使われていない未耕作地の農地をもっと付加価値のある土地に用途変更するのを県に働きかけたらどうかと思うのですが、どうでしょうか。

町長 私が就任してから7年目になるのですが、ずっと言い続けてきました。農林水産省、国土交通省、物凄い規制でがんじがらめでどうにもならない。てこでも動かないぞ、というような感じです。今参事が言った700haの農地ですが、この規制の厳しさというのが物凄いです。この中で今動きかけているのが一部あるんです。それは、東員駅前から役場にかけての場所です。あそこは本当に東員町の中心なんです。あそこをなんとか変えてくれということで、ずっとやってきてようやく今動き始めました。参事が言いましたが、この動かない農地を動かないからしょうがないよね、と言ってそのまま放っておいたのではいけませんので、農協とはちょっと一線引いて、農地を活用していくことを考え出したんです。就任してからずっと認定農業者の方中心にもっと付加価値のある農業をしないかと盛んに訴えかけたんですが、なかなか動いていただけなかった。だから行政が動いたんです。東員町の農地や農業を守るために、東員町の住民の皆さんの暮らしを守るために農業に力をいれていかなければならないということでぜひご理解をいただきたいと思います。

男性（５） 町の財政はこれからますます厳しくなっていくと思います。そんな中で助成金が欲

しいとか言ってくる人もいるかと思いますが、ほいほいと簡単にあげずに慎重にして欲しい。あと、あまりにも箱物が多いのでそれを手放す手段を考えて欲しい。

町長 昭和 50 年代にできた建物が一気に今修繕の時期にきています。それが大変なんです。例えば、陸上競技場ですが、今年 10 月に更新が切れて公認がきれました。公認を取ろうと思うと、トラックの修繕などに億の金がかかります。更新してどれだけ利用されているかといいますと、中学生の大会とかありますがそんなに利用者は多くないですし、あまりお金になりません。25,000人の東員町の陸上競技場が、桑員地区全体の陸上競技を担っているんですよ。次は桑名市やいなべ市にやってよと言ってもいいでしょということなんです。認定の更新をするためには修繕などで東員町民の負担が増えるから辞めますということで辞めました。全面的な改修はしませんが、危ないところは都度修繕していきますし、雨の日は危ないから使用しないでねとか工夫しながら、騙し騙し使っていこうというところです。

男性（5） 陸上競技場とか、野球場とか、プールとかどっかの企業に売れないんですか。

町長 買ってくれるようなところはあります。皆さんいらないとされます。町民プールはそのうち閉鎖かなとは思っています。2カ月しか使っていませんから。お金のかかるものは今整理を考えています。

・懇談による意見

1. 人口増のためのPRについて
2. 水の販売について
3. 地産地消について
4. 新しい農業と農協の関わりについて
5. 施設の整理について